

(1) 中筋小学校

1. 研究主題

「自ら学びとる授業づくり」

～ICTの効果的活用を通して（算数科を中心に）～

2. 主題設定の理由

本校は、学習リーダーを中心とする児童の主体的な学び合いを通して個々の力を高めていくことをねらいとした学習スタイル（中筋スタンダード）を継承してきた。昨年度は、研究主題を「自ら学びとる授業づくり～ICTの効果的活用を通して（算数科を中心に）～」とし、ICTを有効に活用しながら自ら学びとる授業の実現を目標に授業づくりを進めてきた。成果として、ICTの活用が問題を解決するための手段へと変化していること、子どもたちが自分事として問題を解決していこうという気持ちがある（問い）の設定ができはじめたこと等が挙げられる。しかし、とも学び（全体共有）の場面でリーダーを中心に自分達で対話をつなげていき、他者との意見交流の中から課題解決していく過程に弱さが見られたこと、全国学力・学習状況調査の結果から日常生活と関連付けられた問題の正答率が低かったこと等が課題として残った。

そこで昨年度に引き続き、今年度も研究主題を「自ら学びとる授業づくり～ICTの効果的活用を通して（算数科を中心に）～」とした。昨年度に得た学びを継続しつつ、課題として残った中筋スタンダードの要である「とも学びの充実」を研究の重点として学びの質を高めていく。学習リーダーを中心に、子どもが自分達で学びを推し進めていけるような教師の意図した発問の工夫や働かせてほしい見方・考え方に向くような問題提示や問い返し等を研究していく。そして、ICTを効果的に活用し、子どもたち一人一人のよりよい学びを目指していく。

3. 研究仮説

- ①「見方・考え方」を働かせつつ、指導過程の中に効果的にICTを活用（「共有」「協働」「活用」「個別最適」）することで、一人一人のよりよい学び（自立的な学び・協働的な学び）が広がり、自ら学びとる力、学んだことを活用・発揮する力が高まっていくだろう。
- ②基本的な生活習慣の確立、命や人権を大切にされた学級経営による仲間づくり<横糸>、豊かな心や人間性を育む道徳教育・全校活動等を通じた仲間づくり<縦糸>、将来を見すえた自学自習の習慣化（予習）等が、学びを支える基盤（生活や心の安定など）づくりにつながっていくだろう。

4. 研究の進め方と方法

(1) 研究組織

【学力向上部】

- ・中筋スタンダード
- ・講師招聘による授業改善
- ・自学自習の習慣化
- ・資質・能力ベースの授業改善
- ・チャレンジタイム
- ・取り組んでみよう週間の実施
- ・ICTの効果的活用
- ・各種学力調査の分析と活用

【生活支援部】

- ・基本的生活習慣の確立
- ・心づくり・道徳的実践の指導
- ・体力づくり
- ・人権教育の充実（特別支援教育）

(2) 研究の方法

- ・毎月3回、基本的に水曜日を校内研修の日とする。講師の都合で変更する場合もある。
- ・学力向上部、生活支援部の部会を定期的にもつ。

5. 具体的な取組

① 新学習指導要領にもとづく資質・能力ベースの授業づくり（算数科）

- ・各学級年1回の研究授業を実施する。
- ・教材研究はブロック研修とし、講師招聘のもと、事後研究を行う。
- ・教材分析シートを活用する。
- ・研究授業は視点を明確にして参観・協議し、PDCAサイクルで授業改善に取り組む。
- ・協議内容や助言、児童・教師別のチェックシート結果等を実践のふりかえりとして蓄積する。



② 取り組んでみよう週間の実施

「取り組んでみよう週間」・・・自ら学びとる授業の実現に向け、1週間特に授業のポイント（目的意識、ICTの活用、とも学びの充実）を意識して取り組む週間のこと。

1 学期

新しく着任した先生方と足並みをそろえるため「ICTを効果的に活用すること」に重点を置き、取り組む。

☆効果的だったと感じた実践をスライドにまとめ、紹介し合う。

☆児童と教員にアンケートを実施。

2 学期

1学期に実施したアンケートの結果より、「とも学びの充実」を図っていく必要があると分かった。そこで、2学期は、「とも学びによる納得解の追究」に焦点を当て取り組む。

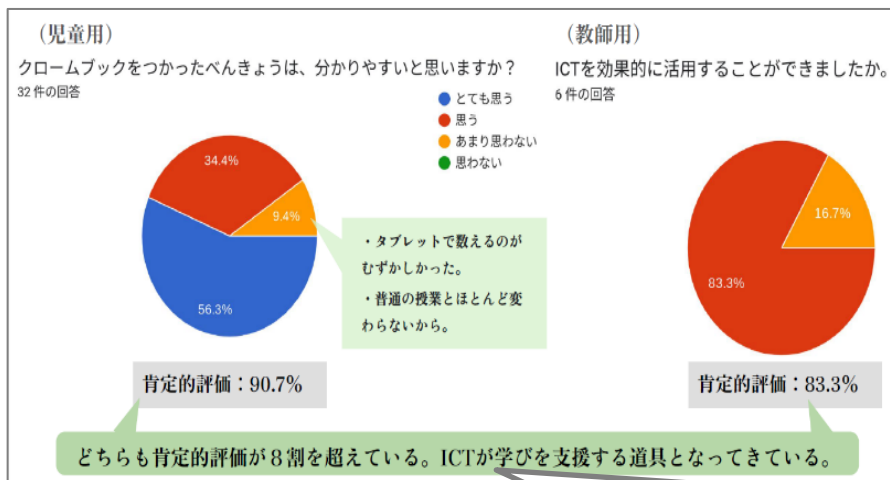
☆とも学びの様子を動画に撮り、共有し合う。

☆児童と教員にアンケートを実施。

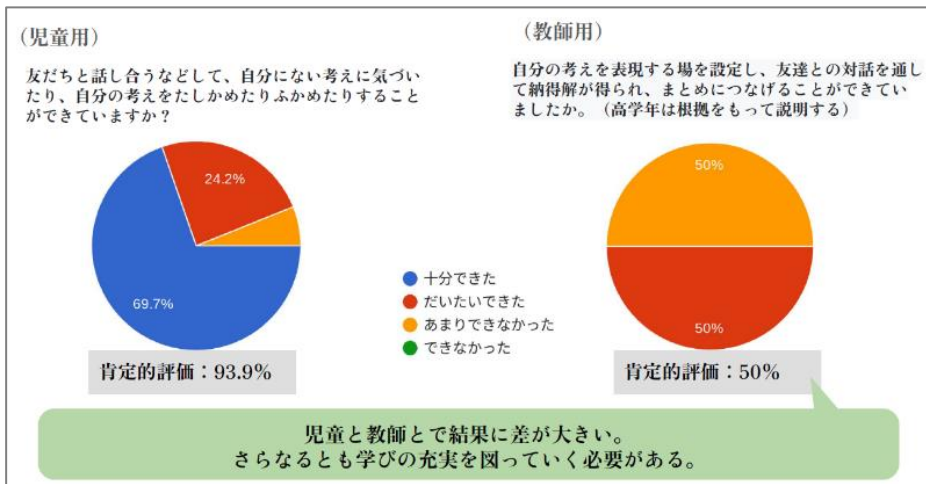
3 学期

「子どもから問いが生まれる課題設定の工夫」

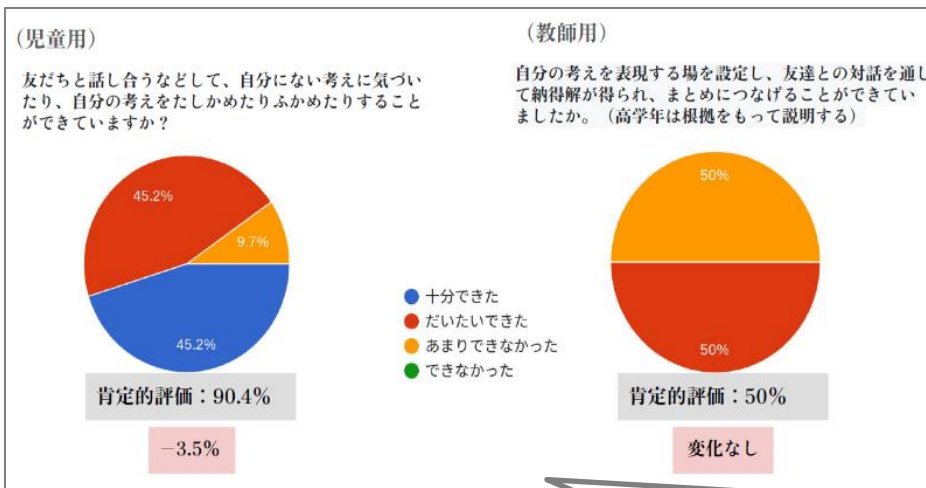
についてスライドにまとめ紹介し合う。



1回目の取り組んでみよう週間後、児童と教員にアンケートを実施。ICTに関わる質問をしたところ、どちらも肯定的評価が8割を超え、ICTが学びを支える道具となってきていることを実感した。



しかし、思考を深めるとも学びになっているかについて質問したところ、児童と教員とで結果に差が大きくみられたことから、とも学びの充実を図っていく必要があると確認した。



同じく2学期も児童と教員にアンケートを実施。1学期と比べ肯定的評価を増やすことはできなかったが、とも学びの難しさを感じながらも、取り組んでみよう週間や研究授業等を通して、考えをつなげたり深めたりしようという意識はもてている。

③ ICT の活用

- ・ICT の相談会を必要に応じて適宜行う。
- ・活用場面の交流を行い、内容を蓄積していく。

《一斉学習での活用》

一斉学習での活用

メニューボード (学習の見通し)

11 並べ方と組み合わせ方

- 11月22日 (水) 並べ方と組み合わせ方⑤ 発表日: 2022/11/22
- 11月21日 (火) 並べ方と組み合わせ方④ 発表日: 2022/11/22
- 11月16日 (木) 並べ方と組み合わせ方③ 発表日: 2022/11/19
- 11月15日 (水) 並べ方と組み合わせ方② 発表日: 2022/11/14

残りなし

① 開講 14:00~ 0 / 6
 ② 応用 14:10~
 ③ 応用(2) 14:30~ 両方を比べてシミュレーション
 ④ ペア (20)
 ⑤ 応用 14:20~
 ⑥ 練習問題 14:25~
 ⑦ 振り返り

ひとり学び (ノート)の写... Google Jamboard

並べ方と組み合わせ方② L... Google スプレッドシート

一斉学習での活用

Ⓜ 使うガソリンの量のわりに長い距離を走れる順番を調べよう。

安田車 萩原車 教頭車

問題場面や練習問題の提示 (日常生活との関連)

れ 四万十市、宿毛市、黒潮町の人のこみぐあいを比べましよう。

四万十市、宿毛市、黒潮町の人口比較 (2020年10月1日現在)

市町村	面積(km ²)	人口(人)
四万十市	632	31,861
宿毛市	286	18,884
黒潮町	188	10,193

1回あたり50人、1回あたり10人、1回あたり1人、1回あたり1人

一斉学習での活用

4年生ICT活用場面 算数科 単元

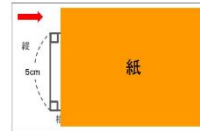
小数のたし算の筆算は

$$\begin{array}{r} 12.13 \\ + 3.45 \\ \hline 15.58 \end{array}$$

- ①位をそろえて書く
- ②整数と同じように計算する
- ③上の小数点にそろえて、小数点をうつ。

○活用の工夫
スライドのアニメーション機能を活用しながら、筆算の仕方を順序を再確認できるようにした。
○児童の活用の様子
小数の筆算の仕方について、ノートに書いたものと、スライドを照らし合わせながら、共に学びに繋がった。

一斉学習での活用



スライドのアニメーション機能を活用し、児童の興味・関心を高める。

3ヒントクイズを出し合おう！

ヒント①
100以上120未満です。

？

ヒント②
一の位の数を0に替えると、100になります。

ヒント③
20以下の数です。

15

ヒント④
約数が4にありませぬ。

その他、写真や挿絵の提示と拡大・縮小、フラッシュカード、動画の視聴など

《個別学習での活用》

個別学習での活用



道徳の事前アンケート

フォームを授業で活用【教師、児童】
(道徳の事前アンケート、新聞づくり、目標のふりかえり)

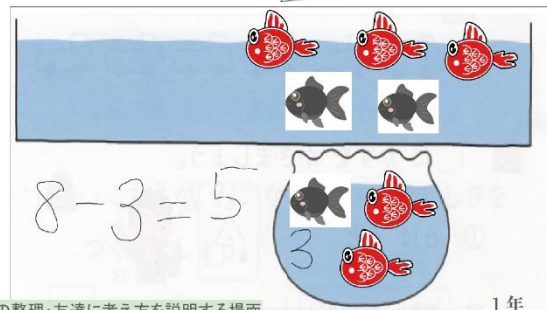


ふりかえりをフォームで

情報収集でフォームを児童が作成

個別学習での活用

個人思考の際にジャムボードを活用



思考の整理・友達に考え方を説明する場面

1年

個別学習での活用

個人思考の際にジャムボードを活用

3年生ICT活用場面 算数科 単元 あまりのあるわり算

さんのだんでは、16に一番近いのがさんじゅうごだから、16÷3=5で15だから、1あまりから答は5あまりだと思えます。



○活用の工夫
どのように考えるとあまりのあるわり算の答えを導き出すことができるのかを考え、言語化するためにシートを活用した。

○児童の活用の様子
どう説明すると解き方がみんなにわかるのかに悩み、この授業後も2人がわかっていなかったため、もう1時間考える時間をとった。

思考の整理・友達に考え方を説明する場面

個別学習での活用

生活科で行う観察日記をデジタルで蓄積

1・2年生ICT活用場面 生活科

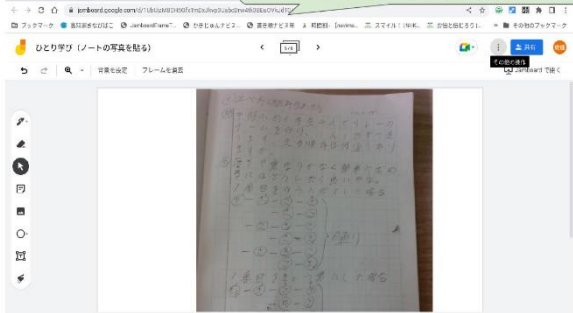


大きくなっていました。あとたくさん花がさいていました。

○活用場面について
生活科で、野菜やあさがおの観察をして、写真を撮りタブレットのワークシートに気がついたことを記入。(1年生は写真のみ)

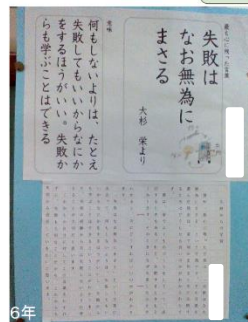
個別学習での活用

自力解決で書いたノートの写真をジャムボードに貼って共有



個別学習での活用

webアプリを活用して作文や要約の学習を行う(縦書き)



『縦書き原稿用紙作成シート』学校教育情報処理研究会

授業以外におけるICT活用

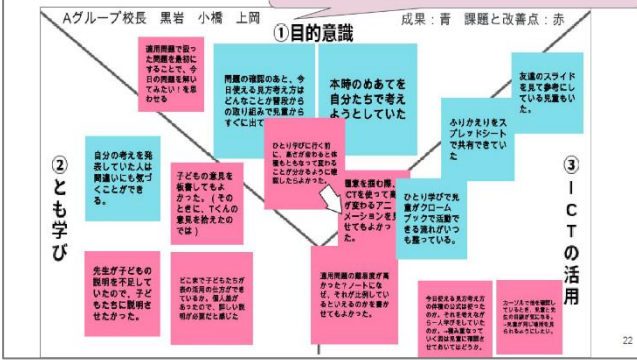
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	がんばってはしましょ									ごうけい
2	1回の走りやう									115
3										
4	4/12	4/13	4/18	4/19	4/20	4/26	5/2	5/9	5/10	
5				7	8		8	7	6	
6										
7										
8	5/11	5/16	5/17	5/18	5/23	5/24	5/25	5/30	5/31	6/1
9	8	8	8	8	7	8	7			7
10										
11										
12	6/6	6/7	6/8	6/13	6/14	6/15	6/20	6/21	6/22	6/27
13							8			8
14										
15										
16	6/28	6/29	7/4	7/5	7/6					
17	8									
18										
19										

朝マラソンで走った回数をスプレッドシートに記入。がんばりを見える化する。

めざせ！みんなで500しゅう！
みんなをあわせたら
745

授業以外におけるICT活用

研究授業後のグループ協議でジャムボードを活用。



授業以外におけるICT活用

教科	単元	学習目標	ICT活用	効果	留意点
国語	教科書	【目標】教科書本文を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【活用】教科書本文を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【効果】教科書本文を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【留意点】教科書本文を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。
算数	教科書	【目標】算数問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【活用】算数問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【効果】算数問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【留意点】算数問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。
英語	教科書	【目標】英語問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【活用】英語問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【効果】英語問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【留意点】英語問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。
総合	教科書	【目標】総合問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【活用】総合問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【効果】総合問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。	【留意点】総合問題を読み取り、内容を理解し、自分の考えを発表する。

研究授業後や研修後、スプレッドシートにふりかえりを記入してもらう。(教職員)



ICTの実践交流の様子

④ 自学自習の習慣化

- ・ 自主学習の手引きを作成し、活用する。
- ・ ぐるぐるノートを実施する。
(横まわり：学級 縦まわり：縦割り班)
- ・ 友達のノートにコメントを書き合う。
- ・ 参観日に合わせてノートの展示を行う。

⑤ 資質・能力を支える取組

- ・ 帯タイム (チャレンジタイム)：活用力をつけるための内容に取り組む
- ・ 朝の準備：PCに触れる時間の確保
- ・ すきま時間を活用したタイピング練習 (高知家まなびばこ)

6. 今年度の成果と課題

<成果>

- 児童・教員に実施したアンケートより、目的意識をもたせる課題設定については日常生活と関連させた問題を出題する等、工夫できたときが多かった。
- ICTの活用が日常化されていることにより、児童自身がデジタルとアナログどちらを選択して思考するかを考えることができつつある。また、教員もどの場面でICTを使うと効果的かを学習内容に合わせて活用できている。

<来年度に向けて>

- 児童が興味を持って取り組める導入の工夫を行う。(ズレや困り感から始まる授業)
- 児童のつぶやきを拾い切り返したり、思考を揺さぶる発問をしたりしながら、とも学びをさらに活性化させていく。
- 学んだことを自覚できる適用問題とふりかえり合わせて10分を確実に実施していく。